

昆虫学辞典

A GLOSSARY OF ENTOMOLOGY

素 木 得 一 編

北 隆 館

HOKURYU-KAN

ま え が き

わが国の昆虫学術語の殆んどすべては欧語の原語から山来する訳語で、現在もなお新術語が外語から訳出されつつある。これ等訳語は同じ意味でありながら、著者によって異なる邦語が使用されつつある実状である。これが簡易化統一の問題は、生物学界に提供された重要な課題の一つである。以上にかんがみ文部省が学術用語分科審議会を設け、既に動物学に関する学術用語集が昭和29年に刊行されたのである。然し同書には昆虫学に関する術語の大多数が省略されてあるため、昆虫研究者にとって甚だしい不便を感じるのみならず、昔時より使用され且つ何等の意味に於て誤っていないものまで改訳されてあるため、更に一層誤解を招くおそれさえあるものが使用されてある。誠にいかんである。

本書には既に使用されつつある術語は誤訳されたもの以外はすべて載用したため、一語に数訳語をあたえたものがあるが、それらは研究者の好みによって何れを使用されても誤りでないものと考えられたい。現今までに使用されなかった術語は総て編者が適当であると信じたものである。本来なれば一原語に対して一訳語とすべきであるが編者個人の考えにて斯くする事は甚だおこがましい次第と思ったのみならず、同原語にて昆虫体の異なる部分に使用されたものは場合によっては異なる訳語を必要とする事が少なくないために一原語に対し数訳語を用いた。

本書には文部省の制限活字以外のものを多数使用したが、独り昆虫学のみならず他の学術語においても、現在の文部省の方針に反した活字が一般に使用されつつあって、多数の学者の意見として学術語はあながち制限活字による必要がないという事が一般的のようである事に編者も同意している次第である。

本書は編者自身のために編集したものを前提としてまとめたもので、未だ充分であるとは信じられないが、現在は絶版となっている石田昌人先輩の昆虫学術語辞典（昭和8年11月刊行）以外にこの種の書籍がないため、多数の研究者が著しく不便を感じている事を知り、あえて世に公にする事にしたものである。尚本書は単なる訳語のみでなく、各術語に簡単な説明を与えてある点に於て、或意味の昆虫学書とも見なすことが出来る。多分欧米の昆虫学の文献を読まるために、更に研究を欧文にまとめるために、便利なものであらうと思う次第である。是非机上に備えていただき、利用なさることを切に望む次第である。又将来更に完全な書のあらわれる事を望む次第である。

本書使用に際し、次の諸点に注意されたい。

1. 昆虫の学名と俗名とは一般の術語とわかつて第二編として、混雑をさけた。
2. 括弧内に lat. としたものはラテン語、独としたものはドイツ語、仏としたものはフランス語、和としたものはオランダ語、伊としたものはイタリア語、他は凡て英語、と承知されたい。
3. 括弧内に目名や科名を書き更に♂♀の付号を入れたものはすべて生殖器の部分と考えられたい。

昭和 37 年 9 月 20 日

編 者

目 次

第1部 術 語……………1

第2部 学名・俗名……885

第3部 用語図解……1098

さくいん

A

a-, ラテンとギリシャ語の接頭字で打消や欠乏や等の意味。

Aasfliegenblumen (独). 糞蠅花. 腐肉臭ある時に糞蠅が訪ずれる花の類をこのように称する. *Araceae*, *Stapeliaceae*, *Orchidaceae* および *Aristolochiaceae* 等に属する花のことである。

Aasfliegenpilz (独). 糞蠅茸. *Phallus* (*Ithyphallus*) *impudicus* のことをこのように称する。

Aasfresser (独). coprophagous insects, Zoosaprophaga 等のこと。

α-female. アルファー雌型. 蟻の雌虫で β-female と一緒に生活している場合にその正常な雌虫をこのように称する。

ab-. ラテンの接頭語で、より離すまたは取り去るの意味. aberration (aberratio) のこと。

abbreviate, abbreviatus. ある部分における不平均な短縮、短かく切断された、普通の長さでない、ことをこのように称する。

Abänderung (独). 変化。

Abänderungsspielraum (独). 変化幅。

Abart (独). Varietät を見よ. variety のこと。

Abblatterung (独). 胚盤細胞の delamination のことをこのように称する。

Abbrennen (独). 焼却法. 害虫駆除で焙で害虫を殺すことをこのように称する。

Abdasseln (独). 蛆絞出法. *Hypodermidae* の蛆を駆除する方法で、この蛆の寄生によって生ずる腫瘍から蛆を絞り出す方法をこのように称する。

Abdomen (独). abdomen のこと。

abdomen, abdomen (仏), **Abdomen**, (独) **abdominis**, pl. **abdomina**, **abdominum** (Pl. 2, j). Hinterleib のこと。

abdominal. 腹部に属するまたは に関する。

abdomen sessile (lat. **abdomen sessilis**). 無柄腹部. 腹部の基部が幅広く胸部に付着しているものをこのように称する。

abdomen petiolatum (**abdomen petiolus**). 有柄腹部. 腹部の基部が柄状となっ

て胸部に付着しているものをこのように称する。

abdominal cleft. 尾端割隙. *Coccina* における腹端の割目様凹陥部をこのように称する. anal cleft.

abdominal ctenidium. 腹櫛. *Nycteribiidae* において、腹部にある櫛歯をこのように称する。

abdominal feet. prolegs を見よ. 腹脚. 腹部にある移動に使用される擬脚をこのように称する。

abdominal filaments (Stephens が *Ephe-meridae* に 1835 年に使用せるもの). cerci のこと。

abdominal forceps (Hobby & Killington 1934 に *Mecoptera* に使用せるもの). stylus のこと。

abdominal ganglia (単 **ganglion**). 腹部神経球. 腹部に神経作用を与うる腹神経索の神経球で、その数は変化があつて、各球から環節の筋肉への主神経の 1 対を出している。一般には 1 体節に 1 個で、消化管と大きな腹面筋肉との間に位置している。

abdominal groove. 腹溝. ある蝶において後翅の内縁の凹陥片が腹部を包むようになっているその凹みをこのように称する。

abdominal legs. prolegs を見よ. 腹脚。

abdominal organ. 腹部器官。

abdominal plate. anal plate を見よ。

abdominal plate (Buchanan White 1891 に *Lepidoptera* に使用したもの). mappa を見よ。

abdominal pouch. 腹囊. *Parnassidae* (*Lepidoptera*) の雌が交尾期間に分泌した物質によって形成された糞状の腹面孔をこのように称する。

abdominal pouch (Elwes 1886 *Lepidoptera* の ♀ に使用せるもの). sphragis に同じ。

abdominal region. 腹域. 胚仔発育中の体の 3 部分の第 3 部として分離される部分で、その付属器が消失または減退する部分をこのように称する。

abdominal sac. 腹部気囊. 腹部にある気管の膨大部をこのように称する。

abdominal segment. 腹環節. 腹部の各環節をこのように称する。

abdominal spiracle. 腹部氣門。

abdominal sternite. 腹部腹板. 腹環節の腹面の節をこのように称する。

abdominal stylus. 腹節肢突起. *Thyra-*

nura の腹部の腹板にある絨状突起をこのように称する。

abdominal valve, 腹瓣, 蠅の腹部腹面の基部にある発音器を覆う葉片物をこのように称する。

Abdominalbeine (独), prolegs のこと。

Abdominaldrüsen (独), 腹部腺, 腹部に開口しているいかなる腺をもこのように称する。

abdominale Nerven (独) (Pl. 4. v), 腹部神経, 腹部神経球から出ている神経をこのように称する。

Abdominalfüsse (独), prolegs のこと。

Abdominalrand (独), Analrand のこと。

Abdominalwulst (独) (Pl. 19. ee), 腹部隆起部, *Catocala* の腹部からの膜蓋瓣をこのように称する。

abductor, 外転筋, 内外転筋ともいわれ, 体の付属器を外方に開きまたは引き延ばしさらにまた付属器を体から離す処の筋肉のすべてをこのように称する, *abductor muscle* のこと。

abductor coxa, 基節外転筋, 脚基節の第2強筋, 脚の基節に付着する強大な筋肉の第2のものをこのように称する。すなわち基節を引く作用をつかさどる筋肉のこと。

abductor mandibulae, 大腮外転筋, 大腮を外方に開く筋肉をこのように称する, *musculus extensor mandibulae* (ラテン語) のこと。

abductor maxillae, 小腮外転筋, 小腮を外方に開く筋肉をこのように称する。

Abductoren (独), *abductors* のこと。

abeille (仏), *bee* のこと。

abeille albinos (仏), *albino bee* のこと。

abeille domestique (仏), *honey bee* のこと。

abeillar de la périphérie (仏), *outside bee* のこと。

aberrant, 異常, 異例, 例外, 並外れ, 正常または普通型から相違する場合をこのように称する。

aberrant form, 異常形, 何らかの先天的または後天的原因によって個体変異の範囲外の色彩を有する個体が現われることがあるが, それ等をこのように称する。

aberration (lat. *aberratio*, *aberrationis*, pl. *aberrationes*, *aberrationum*), 異常型, 普通型から顕著に隔った型のものをこのように称し, 不規則な期間に単独または

まれに生ずるものである。

Abfall (独), *crumbs of wax on floorboard* のこと。

abfascia, 短帯, 翅の幅の $\frac{1}{2}$ より短かい帯紋をこのように称する。

Abflug (独), 飛翔経過, 翅を開張から飛歸えの行程をこのように称する。

Abhängige Muster (独), 従属斑紋, *Lepidopera* の翅の翅脈に沿うてある斑紋をこのように称する。

Abiocoen, 自然群落, 昆虫の一時的または長日月にわたり, 環境の各因子によって同じ地帯に棲息している各種の群をこのように称する。

abgebrütet (独), 産卵終了, 雌虫がすべての卵子を産下せることをこのように称する *steril* を注意。

abgeleitet (独), 特化。

abiogenesis, 自然発生, 偶然発生, *spontaneous generation* のこと。

Abkömmling (独), 誘導体, *Derivat* のこと。

Ablage (独), *oviposition* のこと。

Ableger (独), *neucleus (colony)* のこと。

abnormal, 異常の, 変体の, 不規則の, 畸形の, 通常の範囲または成行からはずれている場合をこのように称する。

abnormal parthenogenesis, 不定則單為生殖, 両性生殖を行なう昆虫で不定時に單為生殖を行なう場合をいう。

abnormal variation, 異状変異。

aboral, 反口側, 口部から隔った方向にある意味。

aboral pole, 反口極, 口部から離れた極の意味。

aboriginal, 最初の, 原始の, 生来の, 等の意。

aborted, 發育不完全または萎縮せる, 正常な機能に対し不適當であるごとく発達せるものをこのように称する。

abortifera (独), *aborted* のこと。

abortion, 畸形, 普通に現われるいかなる部分または器管の不完全な發育または全く発達せざるものをこのように称する。

abortive egg (e), 癸類卵, 發育不可能な卵子をこのように称する。

Abortiveier (独), *abortive eggs* のこと。

above, 上方, 普通体を正常の位置に置いた場合の背面の方に位置する事をこのように称する。

Abplattung (独). 扁平形. *depressive form* のこと.

abraded. 擦除または擦消せる.

abri spumeux (仏). 泡巢. *Aphrophora* の幼虫の泡にて造られている巢をこのように称する.

abrupt. 截断状の. ある部分が急に切断されたような末端を有することをこのように称する.

abrupt clavate (Pl. 51. fig. 24). 截断棍棒状. 触角等の末端膨大部の先端が截断状を呈するものをこのように称する.

abscence. 欠産. メンデル法則中優性の現われざる場合をこのように称する.

Abschnürung (独). 絞細形. 他の部分より細くなっていること.

Abschreckmittel (独). 威嚇手段. 例えば *Schreckanhänge* または *Schreckstoffe* 等によって他を威嚇する方法をこのように称する.

Abschreckwaffen (独). *Schreckanhänge* のこと.

abscissa (lat. *abscissae*, pl. *abscissae*, *abscissarum*). 脈節. 翅脈の多少分離せるまたは明瞭な節あるいは区分, 例えば *abscissa of radius*. 一般に *Hymenoptera* (*Ichneumonidae*) に使用されている.

abscissa 1 (Pl. 22. az). 第1脈節. **abscissa 2** (Pl. 22. ba). 第2脈節. **abscissa 3** (Pl. 22. bc). 第3脈節.

abscissula (Pl. 22. bp). 小脈節. *abscissa* と同じで *Hymenoptera* (*Ichneumonidae*) の後翅にあるものを特にこのように称する.

abscissus. 直截. 直線の縁を具えて方形に截断されていることをこのように称する.

absconded swarm. 逃亡群飛. 蜜蜂が巢箱におちついた後に逃れて群飛することをこのように称する.

absconditus. 隠されている. 頭部等が前胸背板下に位置し背面から見えないような状態をこのように称する.

absolute potential. 絶体能力.

Absonderung (独). *Sekretion* のこと. *Secretion* のこと.

absorption. 吸収作用. 毛细管または滲透作用によって生ずる吸収作用をこのように称する.

resorption 参照.

Abstammung (独). 系統.

Absterben (独). 死亡.

Absterbeordnung (独). 死亡秩序.

Abstreifen (独). 剥皮.

Abtrennung (独). 分離.

Abundanz (lat. *abundo*). 豊富, 夥多.

Abundismus (独). *melanismus* 参照.

Abwehr (独). 防禦.

Abwehrgifte (独). *Schreckstoff* のこと.

Abwehrwaffen (独). 防禦器.

Abweichungsmerkmalen (独). 異状標識.

Abwerfen (独). *Autotomie* のこと.

Abwurf der Flügel (独). 翅の脱落. 有翅白蟻に適用される.

Abzieher (独). *abductor* のこと.

Abzweigung der Dorsalampullen (独). (Pl. 44. d). 背鼓動器官分岐.

acanthoparia (pl. *acanthopariae*). 有棘側上咽頭. *Coleoptera* のコガネムシ型幼虫における上咽頭の対をなす側部すなわち *paria* の有棘縁部をこのように称する.

acanthophorites (Hardy 1935 が双翅目 *Asiloidea* ♀に使用せるもの). 肛節基背片. *proctiger* の基部にある鰓葉状の背面付属器をこのように称する.

acanthus. 棘, 距棘, 疣棘, 針等, をこのように称する.

Acarien (独). *mite* のこと.

acarine disease. ダニ病. 一名 *Isle of Wight disease* (ワイト島病). 蜜蜂が *Acara-pis woodi* によって生ずる病気をこのように称する.

acariöse (仏). *acarine disease* のこと.

acaudal, acaudate. 無尾.

acceleration in development. 発生期促進. 発生を早めること.

accessory. 二次的の, すなわち一次的の構造に追加される意.

accessory appendages. 二次的の付属器.

Odonata の雄虫の腹部第2節の腹面にある交尾器を Garman 氏がこのように称した. 恐らく生殖前後両鉤に該当するものである.

accessory genitalia のこと.

accessory carinae. 顔側隆起線. *Orthoptera* の顔面側部にある縦隆起縁をこのように称する.

accessory cell. 副室. 翅室の1つで, 一般には存在しないが, ある目にある. 例えば *Lepidoptera* では普通亜前縁脈の末端に小室があって, それが $r_1 \sim r_4$ まで直接にま

たは間接に達している。Comstock は $1R_2$ と称している。また areole といい、あるいは Klots によると多くの *Lepidoptera* の翅に生ずる r_{2+3} と r_{4+5} との間で横脈によって閉ざされている一小室をこのように称する。

accessory chromosome. 副染色体。

accessory circulatory organs. 付属循環器官。心臓から独立して収縮し得る囊状の膜質構造物で、一般に付属器の環節内に存在する。例えば *Hemiptera* の *Nepidae* の脚内にある。accessory pulsatory organs ともしう。

accessory copulatory vesicles. 付属交尾囊。家蠅の雌の生殖器の一部で、陰の腹面両側に開口している 1 対の球形の膜質囊をいう。

accessory copulatory processes (Pl. 32. i, k). 副交尾鉤。 *Grylloblattaria* の右陰茎節から出ている 2 本の小突起をこのように称し、その下方の 1 本を第 1、上方の 1 本を第 2 とこのように称する。

accessory dorsal nerve. 付属脊神経。

accessory genital glands. 副生殖腺。雌の腹部第 9 節の腹面に開口する腺で、粘着物質即ち卵莢を形成または卵を被うところの物質を分泌するものと、雄虫にては射精管に開口している腺とをそれぞれこのように称する。accessory sac, colleterial glands, ectadenia, glandulae accessoriae, glandulae sebaceae, sebific glands 等参照。

accessory genitalia (Pl. 30. Figs. 16~18).

副交尾器。accessory appendages に同じ。

accessory gland. 付属腺。腺系に属するいかなる第二次的の腺を一般にこのように称する。

accessory gland (Kimmins 1940 *Osmyiidae* ♀に使用せるもの)。spermatheca に同じ。

accessory gland of ovipositor (Pl. 32. bd). 産卵管腺。 *Orthoptera Ensifera* ♀の genital chamber (交尾室) 内に開口している腺をこのように称する。異名として **glande annexe de l'ovipositeur** (Gappe de Billon 1920) と **Ovipositor-drüse** (Ander 1939 et al.) とがある。

accessory haustellars. 口吻吸部付属筋。

accessory lobes. 付属葉。前大脳の腹面両側の葉片をこのように称し、また *Plecoptera* ♀ (Pl. 32. b) の生殖口の側下面に突出している葉片すなわち第 9 腹板の突出片を

このように称する。

accessory organ (F. M. Brown 1931 *Lepidoptera* ♀に使用せるもの)。appendix bursae に同じ。

accessory paddle hair. 副摸足毛、副扇節毛。paddle hair のわきにときに生じている微毛をこのように称する。

accessory pigment cells. 副色素細胞。復眼の各個眼の色素細胞の間にある色素細胞をこのように称する。

accessory plusatory organs. 付属脈搏器官。accessory circulatory organs に同じ。

accessory sac. 付属囊。雌の生殖系に属する腺質構造物で粘着質物を包含するもの、故に粘着囊と称することがある。

accessory sac (Torre-Bueno 1950 ♀に使用せるもの)。accessory genital glands 参照。

accessory sound muscle. 副発音筋。蟬の発音器に付随する筋肉の 1 つをこのように称する。

accessory stridulating apparatus. 副発音器。

accessory subcostal vein. 副亜前縁脈。

Perlidæ の翅の亜前縁脈から分かれて翅頂の方に向かって前縁に達する脈をすなわち sc_2 (第 2 亜前縁脈) をこのように呼ぶことがある。

accessory tentacles. 副触手。

accessory tympanal membrane. 副鼓膜。 *Lepidoptera* における鼓膜の二次的膜で、解剖学的には胸部後背板の膜質化せる部分である。

accessory veins. 副翅脈。翅の二次的に発達せる縦脈をこのように称する。

acclivous. ゆるやかに隆起すること。緩隆起の。

accommodation. 視覚調節。眼の焦点調節をこのように称する。

accouplement (仏)。copulation, mating のこと。

accescent, accrescente. 漸進増大。末端の方に太さが漸次増大することをこのように称する。

accretion (Chapman 1916 *Lepidoptera* ♀に使用のもの)。sphragis に同じ。

aceous, aceus. 接尾語で、に類似するまたはの性質の、等の意味。

acephala (Pl. 47. Fig. 13). 無頭類。 *Diptera* の幼虫の頭部が外部に顕れていない類をこ

のように称する。

acephale Larven (独). 無頭幼虫. *acephale* Maden のこと.

acephale Maden (独). 無頭蛆. *acephala* のこと.

acéphales larves (仏). *acephale* Larven のこと.

acephalous, 無頭の. 頭部のないことをこのように称する.

acerous, 無触角の. 触角の無いことをこのように称する.

acetabular caps, 基節窩. *Hemiptera* における *coxal cavity* をこのように称する.

acetabular setae (Pl. 37. hh). 把握器棘毛. *Siphonaptera* の把握器本体の後端にある普通 2 本の長い棘毛をこのように称する.

acetabuliform, 皿状. 周縁が多少内方に彎曲しているあさいコーヒータ碗の台皿のような凹をいい, また *acetabulum* あるいは *coxal cavity* のような凹をいう.

acetabulum (pl., *acetabulorum*, *acetabula*). 関節陥. 付属器が関節している窩で, 特に *coxal cavity* (基節窩) をこのように称する. また端の蛆の吸収口における盂状の窩をもいう. さらに *Siphonaptera* の把握器本体の内側にある指突起の関節窩 (Pl. 37. ii) をいう.

acetic acid, **glacial**, 醋酸. 透明無色の液体で, 醋に似た特徴ある嗅気を有し, かつ水にてよく稀薄にすると酸味を有し, 水やアルコールやグリセリン等に混じやすく, 組織を硬化するのにまた他の組織研究の目的に使用されるものである.

achatine, **achatinus**, 瑪瑙色彩. 多少同心円的の瑪瑙の模様のごとき線に類似しているものをこのように称する.

achromatic, 不染の. 色から自由なこと.

achromatin, 不染色体. 細胞核の染色されない部分をこのように称する.

Achsen skelett (Wagner 1940 *Siphonaptera* 8 に使用せるもの) (独). — *lamina media* に同じ.

Achsel (独). 肩. 翅の前縁と胸部との間の角をこのように称する.

Achselblatt, **Achselblättchen** (独). 肩板. *Lepidoptera* の前翅の前縁基部にある関節膜のことをこのように称する. *tegulae* のこと.

Achselkamm (独). 肩齒. 肩板の下側にある棘の列をこのように称する. *Tischeriidae*,

Adelidae, *Heliozelidae*, *Cossidae*, *Glyphipterygidae*, *Tineidae*, *Euplocamidae*, *Aegeriidae*, *Gracilariidae*, *Phyllocnistidae*, *Hyponomeutidae*, *Gelechiidae*, *Anthroceridae* および *Cochilidiidae* 等の原始的 *Lepidoptera* に見出されている.

Achsenfaden (独). 軸糸. 受音波器官の感覚細胞の上端から延びている糸状部をこのように称する.

Achsen des Tierkörpers (独). Richtachsen のこと.

Achsenzylinder (独). 軸柱. Nervenfortsatz や Saugnapfhaare 等のこと.

Achsenzylinderzelle (独). 軸柱細胞. Trichogenne Zelle と相同. **Achsenzylinder**, **Palisadenzellen** 等のこと.

Achterfigur (独). 8—図形. 翅頂が飛翔中に画く線形のこと. 1867年に Pettigrew や Belli によって初めて認められたものである.

acia, 大腮薄板. 大腮の薄い外皮部をいう.

acicula (pl., *aciculae*). 針, 棘. *Thysanoptera* の *Tubifera* ♀に Priesner (Pl. 40. mm) が腹部第8と第9との環節にある彎曲針をこのように称する. — **bastoncini** (Melis 1933) は異名である.

acicular, 針状. 細長く尖っている状態.

acicular seta, 針毛. *Lepidoptera* の被蛹の尾棘中にある針状毛をいう.

aciculate, **aciculatus**, 粗面. 針にて搔いたような表面をこのように称する.

acid, 酸. 酸味を有する化合物で溶液の場合に blue litmus red に変化するもので, H^+ radical を含有するものである. 水素の塩類である.

acid alcohol, 酸性アルコール. 70% アルコールに 0.1%~1% 塩酸を加えたものをこのように称する, destaining に使用されるもの.

acid gland, 酸腺. *aculeate Hymenoptera* における毒囊中に開口する 1 対の糸状腺の 1 つで毒の酸成分を分泌するものをこのように称する. *Giftdrüse* (独), *glande acide* (仏).

acid scent, 酸嗅. 刺激性のいやな臭のこと.

acide carbonique (仏). carbon dioxide のこと.

acide formique (仏). formic acid のこと.

acide lactique (仏). lactic acid のこと.

acide pantothenique (仏). pantothenic

acid のこと。
acidotheca, 産卵管鞘, 産卵管の蛹の鞘をこのように称する。
acies, 縁端, ある縁の極端をこのように称する。
acinacicate, acinaciform, 偃月剣形, 中世期の剣の形で, 截断尖端を有する曲折部の方に幅広く彎曲している形状をこのように称する。
acini (単数 **acinus**), 顆粒, 黒莓様の顆粒をこのようにいい, 一般に腺の分泌管の末端が顆粒状となっているものをこのように称する。——“葡萄状腺”の各粒胞のこと。
acinös, acinus のこと。
acinose, acinous, 粒状面, 皮膚表面に acini があること。
acinose salivary glands, 葡萄状唾液腺, 唾液腺の末端顆粒状となっているものをこのように称する。
acinous gland, 葡萄状腺, 腺の末端母状となっているものをこのように称する。
Acinus (独), **lat. acinus, acini, pl. acini, acinum**), 腺粒, 分泌細胞の小塊をこのように称する。
acone eye(s), 無円錐晶体複眼, 複眼の小眼に円錐晶体がなくその個処に細長い透明細胞群があるものをこのように称する。
acones Auge (独), **acone eye** のこと。
acorn cup, 女王室杯, 蜜蜂の queen-cell cup のことで女王の育つ室の原基をこのように称する。Weiselnäpfchen, Weiselbecher (独); embryon de cellule (仏)。
acoustic nerve, 聴感神経, 聴感孔あるいは他の聴感器官に達する神経線で特種の神経球を具えているものをこのように称する。
acquired variation, 後天的変異。
acquires character, 二次的獲得性。
acridivorus race, 食蝗種族, 飛蝗を食する人種でアフリカに住する種族をこのように称する。
acridophagus, 食蝗性, 蝗虫類を捕食する性を有することをこのように称する。
acrocephalic, 尖塔状。
acrocerus (pl. **acrocerci**), Berlese 1906 が *Diptera* の♀に使用せるものは cercus に同じ。同氏が 1909 年に *Lepidoptera* に使用したものは harpe (広義) の部分のことである。
acroginio (伊), Berlese 1909 が *Protura* ♀に使用せるものは **acrogynium** に同じ。

acrogyne (仏) (Denis 1949 *Protura* ♀に使用), processus sternalis に同じ。
acrogynium (pl. **acrogynii, acrogynia**), 交尾端器, *Protura* ♀の styli と多分 stipite とからなる perigynium の内に引き込まれ得る生殖装具の末端部をこのように称する。Berlese 1909 の acroginio は異名。
acron, (Pl. 10. a), 前口節 (prostomium), 先体, 節足動物の胚仔で, 頭部の第3大脳節の前方部をこのように称する。またある蟻の第1節。
acroparia (pl. **acropariae**), 有棘毛下咽頭側前部, 蟻蟻状すなわちコガネ虫形甲虫の幼虫における下咽頭側壁前部で棘毛を具え, 一般に長い部分をいう。
acrosternite, 腹板前凸縁, 腹部腹板の前縁に現われる狭い凸縁部をこのように称する。*Hymenoptera* の♀にて antecostal suture に対し前方の腹板の部分をこのように称する。
acrostical or acrostichal bristles, 中棘毛, *Diptera* の中胸背板の中央にある2列の棘毛をこのように称する。*Dolichopodidae* では背中棘毛の位置にある微小棘毛をこのように称する。acrotical は誤り。
acrostichal hairs, 中毛, *Diptera* の中胸背板の背中棘毛間にある毛をこのように称することがある。
acrostichal setulae, 中短毛, *Diptera* の中胸背板の背中棘毛間にある著しく短かい毛をこのように称することがある。
acrostylus (pl. **acrostyli**) (Berlese 1909 *Lepidoptera* に使用), 一般学者の harpe (広義) の部分をこのように称する。
acrotergal, 二次前背板のまたはに關する。
Acrotergit (独), **acrotergite** (Pl. 17. tt), 端背板, 二次的背板の前縁にある狭い縁部で, とくに幅広く発達するがしばしば減退または認められない, この部分をこのように称する。*Orthoptera Ensifera* (Pl. 32. bm) における腹部第8と第9との背節の側縁によって形成されている側甲をこのように称し, それと valvifer が関節している。apophyse des IX tergites (Ander 1939) apophysis of terg. IX (Walker 1922), tergal apophyse (Snodgrass) 等は異名。
acrotrema Kopfkapsel (独), 上後頭孔頭蓋, 多数の幼虫に見出される, 後頭孔が背方に位置している頭部をこのように称する。

acrotrophic, 端栄養室的。卵管の末端室に栄養細胞を有するものをこのように称する。

acrotrophic egg tube, 端栄養室卵管。卵管の1型で、末端室に栄養細胞を止むるもの、ときに **telotrophic type** ともいう、この卵管をこのように称する。

acrotrophic ovariole, 端栄養室小卵管。卵巣小管の末端に栄養細胞があるものをこのように称する。

acrotrophic type, 端栄養室型。

acrotrophique (ovaire) (仏), meroistische telotrophe Eiröhre のこと。

acrydian, 蝗虫または蝗虫様の。

actual penis (Ekblom 1926, 1928 *Heteroptera* に使用), endosoma のこと。

action potential, 活動電位。

actions pathogènes (仏), 病原作用。

action vulnérante (仏), 傷害作用。

activity, 活動, 活潑, 敏捷。

acuductate, acuducted, acuductus, 有微搔痕。針尖でさすったような細かい搔痕を有することをこのように称する。

aculea (pl. **aculeae**), 外皮固定毛, 針状微突起。また *Lepidoptera* の翅面にある微小針状体。

aculeate, aculeatus, 尖る; 短鋭端を具える; 棘を装う; 特に蜂のごとく尖い刺針を具えていること。

aculeate-serrate, 尖鋸齒状。鋸の歯のごとく、一方に傾いている多数の短かい尖頭を装うていること。

aculei, 時に *Lepidoptera* における微細毛をこのように称することがある。

Aculeus (独) (lat. **aculeus, aculei**, pl. **aculei, aculeorum**), 棘器。小鋭尖頭。特に蜂におけるがごとく刺針産卵管のこと。*Tipulidae* の雄 (Torre-Bueno 1950) の尾端にある細長い角質のしばしば彎曲し、かつ尖れる1片で缺けが開かれた際に突出するものをこのように称する。Tillyard が *Odonata* ♀ に使用せるものは前陰具片と中陰具片との合体のことをこのように称する。また表皮の円錐状微突起をこのように称する。(Pl. 52, Fig. 2, g)。

acuminate, acumined, acuminatus, 漸細尖頭。細い尖頭に漸次細まること。

acupunctate, acupunctatus, 微点刻ある。針でつついたような微浅点刻を有することをこのように称する。

acus, 産卵管刺針。

acutangulate, 鋭角をなすこと。

acute, 鋭角の, 尖鋭の。直角より少ない角度で終っていること。

acute-tetragonum, 尖四角形。

acutilingual, 尖舌の。鋭く尖っている舌すなわち口器を有する, 蜜蜂類に見られるようにこのように称する。

acutilingues, 尖舌類。短かく尖る舌を有する蜜蜂類をこのように称する。Obtusilingues 参照。

acutolobus (pl. **acutolobi**), 尖葉。Crampton 1925 *Blattoidea* と *Mantoidea* との左 epiphallus の背外突起をこのように称する。

ad-, ラテン語の接頭語で、方にの意味。

adanale, 第4翅軸節。翅のつけ根にある小節片の第4位のことをこのように称する。

adaptation, 適応。

adaptation for aquatic life, 水棲生活への適応。

adaptation to liquid diet, 液体食物への適応。

adaptive coloration, 適応色。

adaptive ocelli, 適応眼。多くの幼虫にある集合せる単眼で, stemmata, ocellae, ocellalae, ocellanae 等と称しているものをこのように称する。

adaptive variation, 適応変異。

addition marking, 付加斑紋。蚕兒の体の正常斑紋以外に現われた斑紋をこのように称する。

additional lateral plates (Tjeder 1936 *Mecoptera* ♀ に使用)。—laterotergites のこと。

addled brood, 廢兒。蜜蜂の幼虫で成熟不可能のものをこのように称する。taube Brut (独), couvain avorté (仏)。

addled egg, 無精卵。蜜蜂に適用され, sterile egg, oeuf stérile (仏), taubes Ei (独) 等のこと。

addorsal, 背面の中央部に近いこと。

addorsal line, 副背線。*Lepidoptera* 幼虫における背線と亜背線との間で背線に近くある1縦線をこのように称する。

Adductoren (独) (lat. **addoco**), adductors のこと, Anzieher のこと。

adductors, adductor muscle (Pl. 9, j), 内転筋。付属器を体に引きつける, または並置に部分を引く, 筋肉をこのように称する。

abductor 参照

adductor coxae. 基節内転筋. 基節の強筋肉の第2のものをこのように称する.

adductor mandibulae. 大腮内転筋. 大腮を内方にすなわち左右を接近せしめる筋肉をこのように称する.

adductor of galea. 小腮外葉内転筋.

adductor of lacinia. 小腮内葉内転筋.

adductor of maxilla. 小腮内転筋.

adelocer. adeloceratous のこと.

adeloceratous. 隆角類の. 触角が隠れているもの. Cryptocerata 参照.

adelognath. 隆角類の. 口器が自由でしかも隠されていることで, 短かい口吻を具えている *Curculiodae* のことで, 分類学的にときに Curculionides adelognathi と称せられていられるものをこのように称する.

Adelphogamic (独). 同胞生殖. 蟻や白蟻等において行われる一巢内の雌雄によって生殖されることをこのように称する.

Adelphophagie. Kannibalismus のこと.

adenal. 有腺の.

adenal. 腺形.

adenotropes Hormon (独). 腺ホルモン.

adephagid. 食虫甲虫. 捕虫食性甲虫類の1つをこのように称する.

adephagia type. 食虫群型, 食肉群型. *Coleoptera* の後翅の中脈と肘脈との間に長楕円形室すなわち oblong cell (矩形室) が形成されている, この後翅をこのように称する.

adephagous. 食虫甲虫類の. 捕虫食性甲虫類に属すること. Hydradephagous 参照.

adequal cleavage. 同割. 発生学において卵子の分割に使用されている術語である.

Ader (独). vein のこと.

Aderanhang (独). 翅脈枝. *Tachinidae* 等の第5径室の後角から出ている短支脈をこのように称する.

Adernkreuzung (独). 翅脈交叉. *Odonata* や *Ephemera* の前翅における中脈叉幹脈と径分脈の交叉をこのように称し, subnodus のことで, それから翅縁の方に C, SC, R, M₁, M₂, rs が出ている.

adermata. 透皮蛹. ある蛹で, 幼虫の皮膚を脱皮後, 蛹の皮膚を透して形成中の成虫の翅と他の部分とが認められるような, この蛹をこのように称する.

Aderrest (独) (Pl. 22. ay). 残脈. *Hymenoptera* (*Ichneumonidae*) の前翅の第1逆走

脈から第1中央室内に出ている短かい突出脈をこのように称する.

adfront, **adfrontalis**, **adfrontal areas**, **adfrontal sclerites** (Pl. 10. u). 額側板, 副前頭. *Lepidoptera* の幼虫で, 額が頭蓋軸線によって左右に分離された1対の細い斜板をこのように称する.

adfrontal spot. 額斑, moricaud 参照.

Adfrontalia (独). adfront のこと.

Adhäsionsdrüsen (独). Haftdrüsen, adhesive glands 等のこと.

adherent. 着生する. 特に蛹が他物体に尾端にて付着し頭部を下にして懸垂しているがごとくに付着していることをこのように称する.

adherent pupa. 懸垂蛹, 垂蛹. 蝶類の蛹で, 尾端を他物に固着せしめて垂下しているものをこのように称する.

adhesive gland(s). 粘液腺. 粘着性の液を分泌する腺をこのように称する.

adhesive hairs. 粘毛. 粘着性を有する体毛で, *Telephorus* 属に見出されている.

adiaphanous, **adiaphanus**. 透明な表面を有する, または半透明なる.

adipocytes (仏). 脂肪細胞.

adipoleucocyte. 脂肪球. 血球の一形で, その細胞質が脂肪滴で満たされたものをいう, ある *Hemiptera Heteroptera* に見出される脂肪細胞の事をこのように称する.

adipose. 脂肪, 脂肪質, 肥満せるもの.

adipose system. 脂肪組織系.

adipose tissue. 脂肪組織. fat body 参照.

adiposus. adipose のこと. corpus adiposum 参照.

adiscota. 不變発育類. 胚仔に成虫板を有せずして成虫となる類をいう, 蠅の1種に見出されている. discota を見よ.

aditus. 通路, 入口.

adjustment. 適応.

admedian sclerites (Rothschild 1912 *Cimicidae* に使用). 生殖基節. 腹部第8節の gonocoxites をこのように称する.

admiculum (pl. **admicula**). 支持器または擁護器. 地中棲蛹の腹部背面にある微歯をこのように称する. またある蛹に見出される隆起線または齒状線をこのように称する. *Tipulidae* における hypandrium の後縁中央にある複合構造をこのように称する.

adnate. 隣接せる, 密接せる, 一所に生じて

いる等の意。

Adoptionssozietät (独). 養子社会. 蟻の社会で他の種類によって子孫の養育が行われることをこのように称する. 例えば1つの巢にて女王が死亡したときに他の種類の雌を入れてその役を司どらしめるがごときをこのように称する.

adoral. 口部の方向にまたは口方にあるいは口までに等の意.

adoral ciliary band. 口毛列. 環毛目の口辺にある毛帯をこのように称する.

adpressed. 面に横たわるまたは押しつけられている, あるいは接触するの意.

adradial canal. 従輻水管.

adspersa, adspersus. 密集せる小点にて現わされている胚.

adscensio, adscensionis, adscensiones (Tjeder 1954) (Pl. 34. ee). 交尾鉤棘. *Neuroptera* の交尾鉤 (parameres) の可動突起をこのように称する.

adsternal. 腹板に続くまたは腹板に近接しているの意.

adult. 成虫. 充分成長し生殖可能の昆虫をこのように称する. imago 参照.

adulthood. 成虫たること.

adult of the first form. 第一形成虫. *Isoptera* の長翅形または有翅成虫をこのように称する.

adult of the second form. 第二形成虫. *Isoptera* の短翅形をこのように称する.

adult of the third form. 第三形成虫. *Isoptera* の無翅形をこのように称する.

aduncate, adunctus, aduncus. 屈曲部. 全長が漸次に曲っていることで, ある部分に用いられる.

adventitia (Pl. 44. j). 心臓外層. 昆虫の心臓の伸縮自在な結締組織の外層をこのように称する.

adventitious. 偶然, 異常, 不定. 明瞭な理由なしに普通の経過から偶然に起生するの意.

adventitious resemblance. 偶然類似.

adventitious veins. 偶発翅脈. ある昆虫における二次的翅脈で, 副脈または間脈等でないものをこのように称する.

adventral line. 腹側線. *Lepidoptera* 幼虫の腹面の中縦線と脚との間にある線をこのように称する.

adventral tubercle. 腹側瘤. *Lepidoptera* 幼虫の腹脚の基部内面にある小瘤をこのよ

うに称する. なお無脚の腹環節の腹面の有脚節のそれに関連する位置にもある, そしてこれらは常に存在している.

advertising color. 警戒色. Warning color 参照. 広告色と称せられたことがある.

aedeagal apodeme. 挿入器甲. 挿入器硬化部をこのように称する.

aedeagal apodemal rod of stern. IX (Traub 1950 *Siphonaptera* 参). Hy-potendon のこと.

aedeagal apodeme (参). apodeme of aedeagus. 挿入器甲. Hall 1948 *Diptera* の *Calliphoridae* 参に使用せるものは phallapodeme のこと. Snodgrass 1946, Traub 1950 *Siphonaptera* 参 (Pl. 37. ab) は lamina media と laminae laterales とから構成されている, 挿入器の基部から出て endophallus 上に前方に延びている板をこのように称する. Jordan & Rothschild 1908 の “penis plate” は異名. Snodgrass 1941 *Hymenoptera* 参に使用せるものは apodeme of penis valve のことである.

aedeagal brace. *Homoptera* 参に使用され, genital phragm のこと.

aedeagal dorsal wall (*Siphonaptera* 参) (Pl. 37. bd). 挿入器背壁.

aedeagal foramen. 挿入器孔. Michener 1944 *Hymenoptera* 参に使用し, penis valves 癒合すなわち背面と腹面とにて接近されたときに挿入器腔内への基部開口をこのように称し, Michener 1944, Truxal 1952 等の *Heteroptera* 参に使用せるものは basal foramen のこと.

aedeagal paraplysis (Oman が *Homoptera Auchenorrhyncha* の *Beirne* 参に使用). 陰茎基突起. phallobase に属する対または不對の突起で, 規則的に connective に付着し, ときにまた挿入器幹に付着している, これをこのように称する.

aedeagal pouch (Pl. 37. bi). 挿入器囊. Snodgrass 1946, Traub 1950, *Siphonaptera* 参に使用, 体壁の内陥でそこから挿入器が出ている, この処をこのように称する.

Penistasche は異名.

aedeagal valves. 挿入器瓣. *Orthoptera* 雄に使用, *Caelifera* において, phallostreme duct を限っている endophallic membrane における硬化部の背面と腹面との対のものをこのように称する. dorsal and ventral

aedeagal valves 参照 Jannone 1940 の *processi del pene*, Snodgrass 1937 の *sclerites of phallotreme wall* 等は異名。

aedéage (仏) (*Homoptera* ♀). aedeagus に同じ。

aedeagus, aedeagi. (**aedaeagus, aedagus, aedoeagus, edeagus, edoeagus, oeda-eagus, oedagus, oedeagus, oedoeagus**; 仏語, **aedéage, édéage**; 伊語, **edeago**; 語原学的には aedoeagus が正しく, ギリシャ語の aidoion から来たもので, 雄の交尾器官のことである。しかし aedeagus は最も普通に使用されている (Pl. 40. t). “挿入器”。陰茎基から明確になっている時に陰茎の末端部のことである。しばしば陰茎と混同して使用されている。 *Protura, Collembola, Diptera, Ephemeroptera, Odonata, Blattoidea, Mantoidea, Isoptera, Zoraptera, Plecoptera, Grylloblattaria, Phasmoidea, Embioptera, Dermaptera, Neuroptera, Psocoptera, Phthiraptera, Thysanoptera*, 等には存在していない, もし phallus がある場合には分離されていない。 *Thysanura* においては明瞭に分化されている。 *Orthoptera* においては分離せる細長い挿入器が *Caelifera* に存在している。 *Coleoptera* においては挿入器は tegmen = phallobase から区別された時に普通 penis と称せられ, 甲虫学者の aedeagus は全 phallus のことである。 *Mecoptera* と *Trichoptera* とにおいては, aedeagus は phallus の本体で, *Lepidoptera* においては複雑な構造となり, phallobase は痕跡的となり鞘を形成しているかまたは欠けている。この事実は *Diptera* (真の aedeagus は distiphallus と称せられるように思われ, aedeagus 術語は distiphallus に対し且全 phallus に対し使用されている)。 *Siphonaptera* や *Hymenoptera* では (aedeagus は penis と penis valves とに対して使用され), および *Strepsiptera* 等にもまた見られる。 *Homoptera* においては aedeagus は *Auchenorrhyncha* においてのみ, 退化したりしなかったりして phallobase から分離されている。 *Heteroptera* においては aedeagus は多分 phallosoma 内に陥入している endosoma であろう。この術語の種々な用途は次下に述べる異名から現われ

るであろう。

aedeagus (Snodgrass 1935 *Thysanura* ♀に使用) (Pl. 30. uu). 挿入器。上述 **partie distale de l'aedeagus** (Denis 1949), **terminalteil des penis** (Janetschek 1954) 等は異名。

aedeagus (Denis 1949, *Thysanura* ♀に使用). penis のこと。

aedeagus (Imms 1951, *Ephemeroptera* ♀に使用). penis のこと。

aedeagus (Helson 1934, Frison 1942, *Plecoptera* ♀に使用). penis のこと。

aedeagus (*Orthoptera* ♀). 挿入器。Ghopard 1920, Walker 1922 (*Caelifera*), **penis** は異名。

aedeagus (*Coleoptera* ♀, penis + tegmen). 挿入器。 **aedoeagus, édéage, forceps, Gonapophysen, oedeagus, phallus** (Snodgrass 1935) 等は異名。

aedeagus (Snodgrass 1935, *Coleoptera* ♀に使用). penis のこと。

aedeagus (*Neuroptera* ♀). 多くの学者による penis and accessory structures (parameres, hypomeres) のこと。

aedeagus (Carpenter 1936, *Raphidiidae* ♀に使用). Hypovalva のこと。

aedeagus (Killington 1936 *Chrysopa* ♀, Tjeder 1936 *Neuroptera* ♀). pseudopenis のこと。

aedeagus (Killington 1936, Carpenter 1940 *Boriomyia* ♀に使用). Mediuncus のこと。

aedeagus (Killington 1936, Carpenter 1940 *Hemeroptera* に使用). arcessus のこと。

aedeagus (Tjeder 1936 *Neochauliodes* ♀に使用). parameres のこと。

aedeagus (*Mecoptera* ♀). 多くの学者の penis and accessory structures. Crampton 1931 **phollosome** や Ferris & Rees 1939 **phallus** 等は異名。

aedeagus (Michener 1944 *Mecoptera* ♀に使用). penis のこと。

aedeagus (*Trichoptera* ♀) (Pl. 35. c). もし分離している場合に phallus の末端部のことで, Snodgrass と共同研究者によって全交尾器官に対して使用されたもの。 Zander の **medialer Endast des Penis, penis** は異名。

aedeagus (*Lepidoptera* ♀). 挿入器。 aedoeagus (鱗翅目学者によって好まれている術

語)と同じ。

aedeagus (*Diptera* ♂) (Pl. 36. ae; Pl. 37. i). 挿入器。多数の学者による全体として intromittent organ のこと。mesosome (Edwards の *Culicidae* に使用), penis (van Emden 1953), phallosome (*Culicidae*) に関する昔時の論文にある), phallosome (*Cyclorrhapha* における, しばしば phallapodeme を包含する), phallus (Séguy 1941 *Calliphoridae* に使用)等は異名。

aedeagus (Abul Nasr 1950, *Diptera* ♂). penis valves と癒合している intromittent organ をこのように称する。

aedeagus (多くの学者の *Tipulidae* ♂に使用), Snodgrass 1935 一般の *Diptera* ♂に使用せるもの。distiphallus のこと。

aedeagus (Snodgrass 1946 *Siphonaptera* ♂に使用). phallosome の末端部のこと。Jordan & Rothschild 1908 の penis は異名。

aedeagus (*Hymenoptera* ♂) (Pl. 38. Fig. 3). penis and penis valves をこのように称し、最初に Beck 1933 に使用されたもの。fourreau (Dufour 1841), gaine du pénis (André 1886), paramèse (Audouin 1821), penis (Hartig 1837), ruthe (Hartig 1837), uncus (Williams 1928) 等は異名。

aedeagus (Timberlake 1954 *Hymenoptera* ♂に使用). 全 genitalia をこのように称する。

aedeagus (*Strepsiptera* ♂) (Pl. 38. ee). 挿入器。第9腹板の上方に彎曲し末端鉤状となっている硬化付属器をこのように称する。appendice copulatoria (Silvestri 1941), appendix genitalis (Silvestri 1939), édéage (Jeannel 1951), genital sheath (Pierce 1909), Genitalanhang (Nassonov 1893), Oedagus (Lingberg 1939), Oedeagus, pene (Silvestri 1941) 等は異名。aedeagus (Badonnel 1932—43 *Psocoptera* ♂). internal paramers のこと。

aedeagus (*Phthiraptera* ♂) 全生殖器をこのように称する。

aedeagus (Ferris 1951 *Anoplura* ♂に使用). genital sac で、その壁の種々な硬化部を共にしたものを用いるように称する。

aedragus (*Heteroptera* ♂, Kullenberg 1947,

Piotrowski 1950, Marks 1951). endosoma と同じ。

aedeagus (*Homoptera* ♂) (Pl. 39. Figs. 4, 6, 7. c). 挿入器。射精管を包含している管状の硬化交尾器をこのように称する。真の penis すなわち phallus を形成している phallobase とともに、しかしこの術語はしばしば phallobase の部分と aedeagus の癒合によって形成されている構造に対して使用されている。aedagus, aedéage, édéage, endosoma (China 1944), membrum virile (Then), oedagus, oedeagus (Caldwell 1937), organe copulateur (Ribaut 1925, 1927), penis (Then 1885 と多くのその後の学者によって), Penisröre 等は異名。

aedeagus (*Heteroptera* ♂, Kullenberg 1947, Piotrowski 1950, Marks 1951). endosoma と同じ。

aedeagus s. l. (*Heteroptera* ♂, Singh-Pruthi 1925, Truxal 1952). phallus のこと。

aedeagus s. l. (*Heteroptera* ♂, Snodgrass 1935). endosoma のこと。

aedeagus s. str. (*Heteroptera* ♂, Snodgrass 1935). vesica のこと。

Aedeagusapodem. aedeagal apodeme のこと。

aedoeagus, aedoeagi (*Coleoptera* ♂). aedeagus と同じ。

aedeagus (*Lepidoptera* ♂, Pierce 1909). aedeagus と同じ、しかし鱗翅目学者によって好まれている術語。penis の管状で硬化せる末端または亜端の押出可能または不可能の部分で、外反可能の vesica を包み nanica によって包被されている、この部分をこのように称する。basal prong of penis, carinapenis, ? catena, coecum penis, lobi apicales penis, penisfilum, prong of aedoeagus, radula, rostellum (Roepke), titillator, vesica 等と称せられている。aedaeagus, aedeagus, deelo uyt Hoornbeen (Swammerdam 1737), edeago (Verity 1940), edeagus, edoeagus, Endstück des Penis (Zander 1903) fourreau charnu (Réaumur 1736), Hornplatte (Suckow 1818), oedaeagus, oedeagus, oedoeagus, pediculus penis (Baltzer 1864), penis (auct. part.), penis sheath (Rothschild & Jordan 1903), Penisendstück (Petersen 1909),

Penishülze (Roepke 1908), **Penisstiel** (Baltzer 1864), **Roede** (part.) (Swammerdam 1737), **Scheede** (van de penis) (de Graaf 1901 in *Cyrestis*) 等は異名。
aedoeagus (*Lepidoptera* auct. ♂), penis (part.) に同じ。
aedoeagus (*Lepidoptera* ♂, Eyer 1924), trulleem に同じ。
aedoeagus (Marshall 1938, *Culicidae* ♂), mesosome と parameres と basal plates とのこと。
aedoeagus (*Thysanoptera* ♂), aedeagus に同じ。 *Tubulifera* における生殖孔が位置している。末端にある腹面の不對の付属器をこのように称する。**pezzo impari del peze** (Melis 1933) は異名。
aedeootypus, aedeootypi (*Lepidoptera* ♀, Toxopeus 1926), 生殖器模式標本。生殖器が研究されかつ記載と図示とが行なわれた最初の標本をこのように称する。
aeneous, aeneus, 鮮明な真鍮色または金緑色の意。
aenescent, 真鍮色になっていることすなわち真鍮色を現わしていること。
aequal, aequata, 等しい, 一樣の。
aequilate, aequilatus, 等幅, 全長等しい幅を有すること。
aerial, 飛空性, 伸張による昆虫の飛空性, 特に無翅型すなわち無飛型昆虫の飛空性。
aeriduct, aeriductus, 呼吸管, 水棲昆虫幼虫の鰓状構造の気管枝, 特に有尾型双翅目幼虫およびある水棲異翅目幼虫の尾状突起をこのように称する。
aeriductus corronatus, 光輪氣門式, 放射呼吸管式, 幼虫の尾端に放射状に気管が出ているものをこのように称する。
aeriductus furcate, 叉状呼吸管式, 幼虫の尾端に長い気管が叉状となっているものをこのように称する。叉状氣門式ともいう。
aeriductus lateralis, 側呼吸管式, 幼虫の体の両側に気管が突出しているものをこのように称する。側氣門式ともいう。
aerobic, 好氣の, 大氣の存在においてのみ太まる。すなわち成長するの意。
aeroscepsia, 氣流感覺, 昆虫の触角に存在するものならんと想像されている仮説感覺をこのように称する。
aeroscepsy, 氣流感覺, 触角を通じ空氣の媒介によって音または臭いを受理する感覺を

このように称する。
aerostatic, 平衡, 昆虫が空中にて平衡を保つに適すること。
aerostats, 平衡氣囊, 双翅目の腹部基部にある大氣囊の1対をこのように称する。
aeruginose, aeruginous, aeruginus, 緑青色。
aesthetical sensation, 美的情操。
Äste der Gabel des IX. Ringes (独) (*Mecoptera* ♂, Klapálek 1906), Hypovalvae のこと。
Aesthocyten (独), Sinneszellen のこと。
aestival, 夏生, 夏季に起生すること。
Aestvales (独), 夏生型, *Chermesidae* の夏期に生ずる *Virginogenien* のこと。
aestivalis (larves) (仏), *Aestivales* のこと。
aestivation, 夏眠, 夏期または高度の温度の経続期間中にあるいはまた乾燥期間中に休眠することをこのように称する。また“越夏”として単に夏を経過することに使用されることがある。
aestivo-autumnal, 夏眠秋発の, マラリヤ熱病の1種に適用されている。
aestivostens, 夏眠幹母型, *Aphidoidea* の無翅幹母型の夏眠するものをこのように称する。
Aethiopis (独) (Pl. 52. d), 亜弗利加区。
aethiopische Region (独), *Ethiopian Realm, Aethiopis* 等のこと。
Aetiologie (独), etiology のこと。
aetiology, etiology に等し。
äussere Beinanlage (独) (Pl. 24. aa), 外脚原基, 胚子における脚の原基が外方に直接に発達しているものをこのように称する。
äussere Flügelanlage (独) (Pl. 24. ee), 外翅原基, 胚子における翅の原基が外方に直接に発達しているものをこのように称する。
äussere Haltezange (独) (*Hymenoptera* ♂, Binslin 1912), gonostylus に同じ。
äussere Imaginalanlage (独), 外成虫芽, 成虫の翅や脚が若虫や蛹時代に外部に現われる萌芽をこのように称する。
äussere Klappen (独) (*Lepidoptera* ♂, Burmeister 1832), valvae に同じ。
äussere Lamellen (独) (*Lepidoptera* ♂, Zander 1903), Lamellen des Ringwalles 参照。

äussere Legescheiden (独) (*Homoptera* ♀, Sulc が *Psyllina* に使用). dorsal valvulae に同じ.

äussere Mikropyle I (独) (Pl. 46. g). 第1外精孔. 卵殻の外面にある精孔をこのように称する.

äussere Mikropyle II (独) (Pl. 46. h). 第2外精孔. 第1外精孔に続き大きな精孔室があってそれに続き精孔がある. それをこのように称する. それに続く小さな精孔室があってそれに続く孔が第3外精孔 (Pl. 46. i) でその次に微小の精孔室があって, それに続く微孔を第4外精孔 (Pl. 46. j) と称しさらにそれに続いて微小の精孔室があって, それに続く微溝がある, それを **innere Mikropyle** (独) (Pl. 46. k) (内精孔) と称する.

äussere Velven (独) (*Lepidoptera* ♂, Poljanec 1901). valvae に同じ.

äussere Orbitalborsten (独) (Pl. 41. h, j). 外眼縁棘毛. fronto-orbital bristles のこと.

äussere Scheitelborsten (独) (Pl. 41. q). 外頭頂棘毛. outer vertical bristles のこと.

äusserer Legestachel (独) (*Homoptera* ♀ *Auchenorrhyncha*). first valvulae に同じ.

äusserer Legestachel (独) (*Homoptera* ♀, Sulc が *Psyllina* に使用). ventral valvulae に同じ.

äusseres Chiasma (独) (Pl. 4. bb). 外キアズマ. 視神経葉の神経球葉と外髄質とを結合している交叉せる繊維牽引をこのように称する.

aff. ラテンの *affinis* の略字. 類似の意味で, ある種類がある属に類似している場合に, 例えば *Pseudomenopon aff. tridens* のごとく記載するのに使用されている.

afferent. 導入. 内送すなわち中心の方に運ぶことで, 神経の場合のごとく.

afferent nerve. 導入神経. 名求心神経. 周囲から中心神経の方に導く神経をこのように称する. また一感覚神経原質の軸索突起をこのように称することがある.

afferent Nervenbahnen (独). afferent neuron のこと.

afferent neuron or neurone. 導入神経原. 外部の源泉から一感覚器管により受理した刺激を内方に送る機能を有する神経原をこ

のように称する, また感覚神経原をこのように称することがある.

afferent sensory apparatus. 導入感覚器官. 導入神経または転入神経とも称せられている.

affinis. 近似, 近縁. 構造または発達において類似の意味.

affinity. 類縁.

africano-brésiliennes (lignées) (仏). アフリカ-ブラジル帯. 昆虫の分布帯のこと.

After (独) (Pl. 2. t; Pl. 40. uu; Pl. 4. aa; Pl. 44. gg). 肛門. anus のこと.

after effect. 後作用.

after potential. 後発電位.

Afterannulus (独) (♂ ♀ *Heteroptera*, Ludwig 1926). anal tube のこと.

Afterapparate (独). 肛具. 肛門部にあるいかなるものをもこのように称する. Anal-kegel, Analkrone, Cauda, Operculum, Lingula, Afterklappen 等を参照.

afterbody. 後体. *Coleoptera* において前胸背板の後方のすべての体をこのように称する.

Afterbusch (独) (*Lepidoptera* ♂ ♀, Hofmann 1888). apical tuft 参照.

Afterdrone (独). drone from unfertilized queen のこと. 擬雄蜂.

Afterdrüsen (独). Analdrüsen, Terminaldrüsen, Pygidialdrüsen 等をこのように称する.

Afterfeld (独). periproct, peripygium のことで, ある学者は telson の異名としている.

Afterfühler (独). Afterraife のこと.

Afterfüsse (独) (Pl. 47. f). prolegs のこと.

Aftergriffel. 肛突起. *Melolontha* の尾板の末端にある細い突起をこのように称する.

Afterklappe (独) (*Lepidoptera* ♂, Hofmann 1888). uncus and tegumen+uncus 参照.

Afterklappen (独). Analklappen, Analzipfel 等のこと.

Afterklappen (独) (*Heteroptera* ♂ ♀, Landois, 1869). anal segment のこと.

Afterklappen (独) (*Lepidoptera* ♂, Lederer 1857). valvae に同じ.

Afterklappen (独) (*Homoptera* ♂, *Auchenorrhyncha*). anal valvae のこと.

Afterklappen (独) (*Lepidoptera* ♀, Baltzer 1864 *Sphingidae* に使用). papillae anales のこと.

Afterkönigin (独). 擬女王. laying worker のこと.

Afterläppchen (独). Flügellappen のこと.

afternose. 後鼻片. 触角の下で頭楯の上にある三角形の節片をこのように称する. Postclypeus 参照. 三角片とも称せられている.

Afteröffnung (独) (*Lepidoptera* ♂ ♀, Herold 1815). anus のこと.

Afterraife (独). Afterfühler, Analraife, Schwanzborsten, cerci 等のこと.

Afterraupen (独) (Pl. 47. Fig. 5). 偽芋虫. *Tenthredinidae* の幼虫をこのように称する.

Afterröhre (独) (*Homoptera* ♂ ♀, *Auchenorrhyncha*). anal tube のこと.

Afterröhre (独) (*Myrmeleon* の幼虫). Spinnapparat のこと.

Afterrohr (独) (*Homoptera* ♂ ♀, *Auchenorrhyncha*). anal tube のこと.

Afterschild (独). pygidium のこと. *Lepidoptera* の幼虫では第10腹節の硬化せる背板をこのように称する.

Aftersegment (独). telson のこと.

Aftersegment (独) (*Homoptera* ♂ ♀, *Auchenorrhyncha*). pygofer のこと.

Aftersegment (独) (*Heteroptera* ♂ ♀, Ludwig 1926). anal tube のこと.

Afterschwarm (独). after-swarm のこと.

after-swarm. 後群飛. 蜜蜂に適用. essaim secondaire, rejeun (仏), Nachschwarm, Afterschwarm (独), cast 等のこと.

Afterstielen (独) (*Homoptera* ♂ ♀, *Auchenorrhyncha*). anal style のこと.

Afertasche (独) (*Lepidoptera* ♂ ♀, Spuler 1908). Sphragis のこと.

Afterträger (独) (*Homoptera* ♂, *Auchenorrhyncha*). pygofer のこと.

Afterverschlussklappe (独) (*Heteroptera* ♂ ♀, Ludwig 1926). anal segment のこと.

Afterwolle (独) (*Lepidoptera* ♀). apical tuft 参照.

agamie, **agamie**, **agamie**. 無性生殖の. 雄との結合なしに生殖することをこのように称する.

agamie generation. 無性世代.

Agamie (独). agamogenesis のこと.

Agamogenese (独). agamogenesis のこと.

agamogenesis. 無性生殖. 雄によって受精

せずして生殖する方法をこのように称する parthenogenesis, gamogenesis 等参照.

agamete. 無性生殖細胞.

agamic, **agamous**. 無性生殖の.

agamont. 新無性親.

agarics termitophiles (仏). 白蟻巢生茸.

age distribution. 年令分布.

agglomerate. 堆積せるあるいは固まる.

agglomerate eye. 集眼. 単眼が別々に集合しているものをこのように称する.

agglutinate. 凝着するまたは1塊に癒合する.

aggregated. 密集する. できるだけ一処に集合している意味.

aggressive mimicry. 攻撃的擬態. または攻勢擬態. 他の敵に対する擬態の意.

aggressive auffällige Trachten (独). 攻撃的特異外装. 誘致外装のこと. 獲物たる昆虫が敵によって誘致されるもの, すなわち敵が食物または自らと同種の昆虫と見誤るもの, あるいは獲物たる昆虫の好奇心を喚起するような刺激を与えるもの等の外装をこのように称する.

例えば熱帯産の *Mantidae* には花に近似の形態を有するものがあって, それに獲物が来るのをこの *Mantid* が保護するがごときである.

aggressive phylaktische Trachten (独). 攻撃的防禦外装. 防衛外装の事で, 獲物たる昆虫に気づかれずにそれに近よることができるように体装が出来ているものをこのように称する. すなわち色彩や形態においていわゆる擬態等がこれである.

aggressive resemblance. 攻撃的類似.

agnathous. 無顎の. 特に口器が廃頤している多脈翅類 (*Neuropteroids*) に適用される.

agnath, **agnathous** のこと.

agressif (仏). vicious のこと.

agricultural biology. 農生物学. または農用生物学あるいはまた農業生物学. 農業上関係あるすべての生物について研究かつ応用する学問をこのように称する.

agricultural control. 農業的防除法. 害虫を農業技術によって防除する方法で, agromomic control のこと.

agricultural entomology. 農昆虫学または農用昆虫学あるいはまた農業昆虫学. 農業に害または益になる昆虫類の研究を行なう学問をこのように称する.

agriculture. (仏) agriculture, (独) Land-